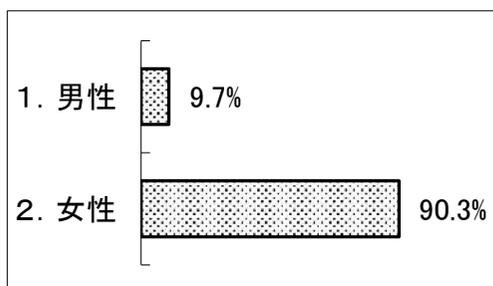


男女共同参画に
関するアンケート
【小学校保護者分】

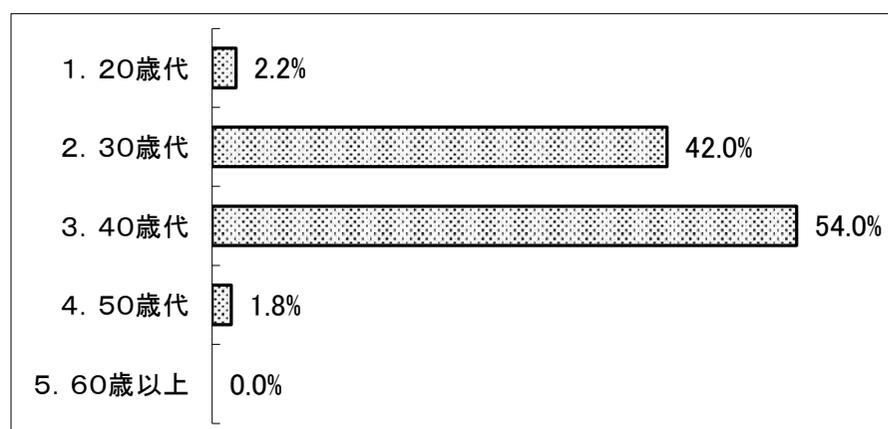
問1. 性別

	人数	割合
1. 男性	22	9.7%
2. 女性	204	90.3%
合計	226	100%



問2. 年令

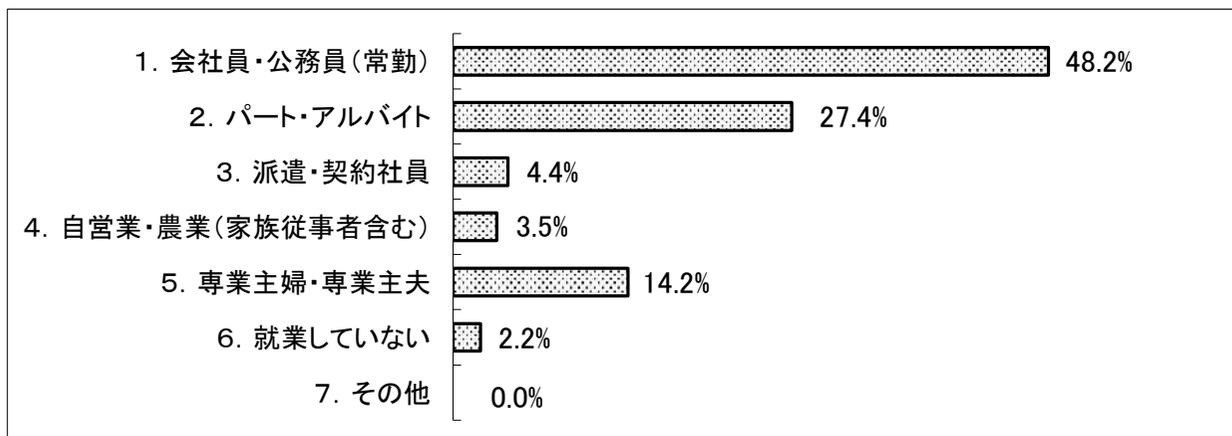
	人数	割合
1. 20歳代	5	2.2%
2. 30歳代	95	42.0%
3. 40歳代	122	54.0%
4. 50歳代	4	1.8%
5. 60歳以上	0	0.0%
合計	226	100%



回収率(56.1%)
403通配布
226通回収

問3. 職業

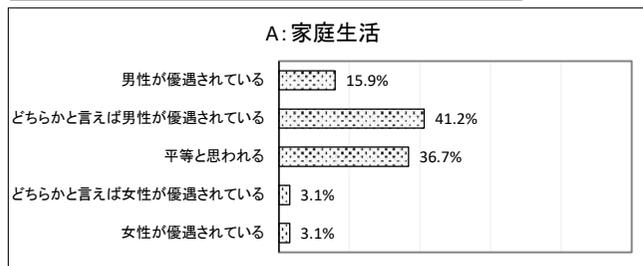
	人数	割合
1. 会社員・公務員(常勤)	109	48.2%
2. パート・アルバイト	62	27.4%
3. 派遣・契約社員	10	4.4%
4. 自営業・農業(家族従事者含む)	8	3.5%
5. 専業主婦・専業主夫	32	14.2%
6. 就業していない	5	2.2%
7. その他	0	0.0%
合計	226	100%



問4. あなたは、男女平等についてどのように感じていますか。(各項目で○は一つ)

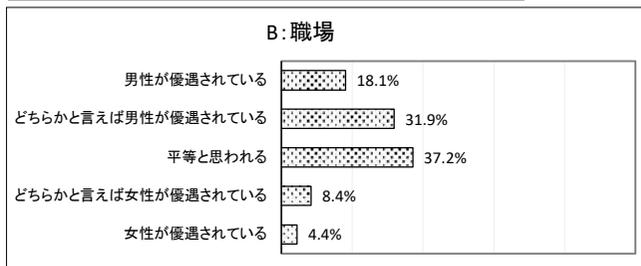
A. 家庭生活

	人数	割合
男性が優遇されている	36	15.9%
どちらかと言えば男性が優遇されている	93	41.2%
平等と思われる	83	36.7%
どちらかと言えば女性が優遇されている	7	3.1%
女性が優遇されている	7	3.1%
合計	226	100.0%



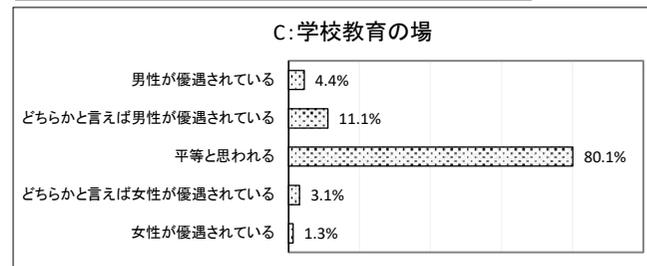
B. 職場

	人数	割合
男性が優遇されている	41	18.1%
どちらかと言えば男性が優遇されている	72	31.9%
平等と思われる	84	37.2%
どちらかと言えば女性が優遇されている	19	8.4%
女性が優遇されている	10	4.4%
合計	226	100.0%



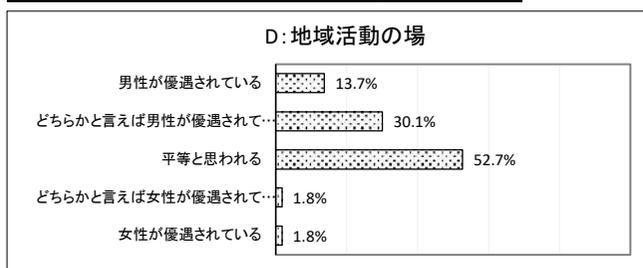
C. 学校教育の場

	人数	割合
男性が優遇されている	10	4.4%
どちらかと言えば男性が優遇されている	25	11.1%
平等と思われる	181	80.1%
女性が優遇されている	7	3.1%
どちらかと言えば女性が優遇されている	3	1.3%
合計	226	100.0%



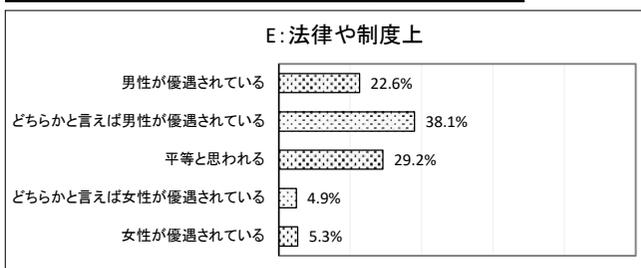
D. 地域活動の場

	人数	割合
男性が優遇されている	31	13.7%
どちらかと言えば男性が優遇されている	68	30.1%
平等と思われる	119	52.7%
どちらかと言えば女性が優遇されている	4	1.8%
女性が優遇されている	4	1.8%
合計	226	100.0%



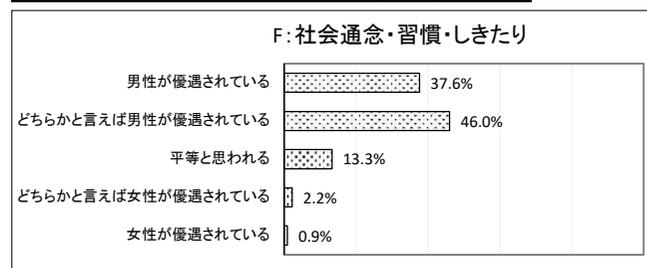
E. 法律や制度上

	人数	割合
男性が優遇されている	51	22.6%
どちらかと言えば男性が優遇されている	86	38.1%
平等と思われる	66	29.2%
どちらかと言えば女性が優遇されている	11	4.9%
女性が優遇されている	12	5.3%
合計	226	100.0%



F. 社会通念・習慣・しきたり

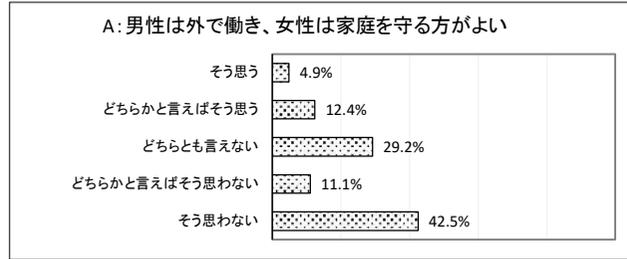
	人数	割合
男性が優遇されている	85	37.6%
どちらかと言えば男性が優遇されている	104	46.0%
平等と思われる	30	13.3%
どちらかと言えば女性が優遇されている	5	2.2%
女性が優遇されている	2	0.9%
合計	226	100.0%



問5. 次にあげる事項について、あなたはどのように考えますか。(各項目で○は一つ)

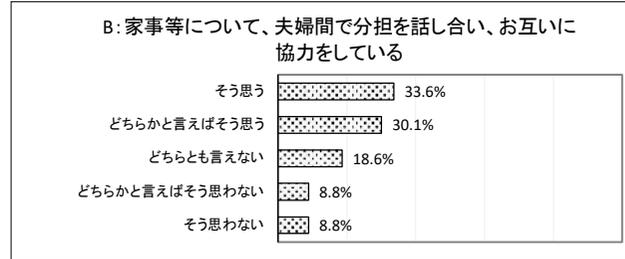
A. 男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい

	人数	割合
そう思う	11	4.9%
どちらかと言えばそう思う	28	12.4%
どちらとも言えない	66	29.2%
どちらかと言えばそう思わない	25	11.1%
そう思わない	96	42.5%
合計	226	100.0%



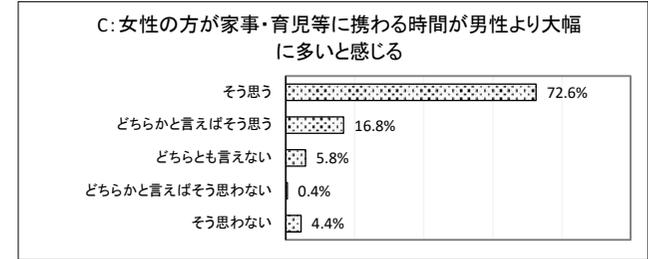
B. 家事等について、夫婦間で分担を話し合い、お互いに協力をしている

	人数	割合
そう思う	76	33.6%
どちらかと言えばそう思う	68	30.1%
どちらとも言えない	42	18.6%
どちらかと言えばそう思わない	20	8.8%
そう思わない	20	8.8%
合計	226	100.0%



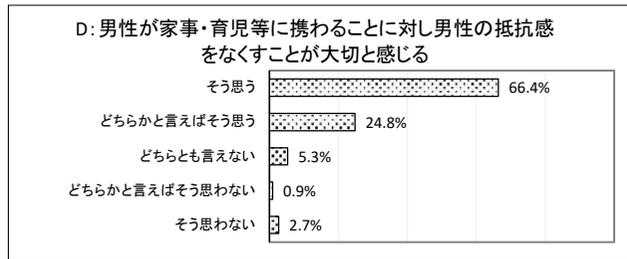
C. 女性の方が家事・育児等に携わる時間が男性より大幅に多いと感じる

	人数	割合
そう思う	164	72.6%
どちらかと言えばそう思う	38	16.8%
どちらとも言えない	13	5.8%
どちらかと言えばそう思わない	1	0.4%
そう思わない	10	4.4%
合計	226	100.0%



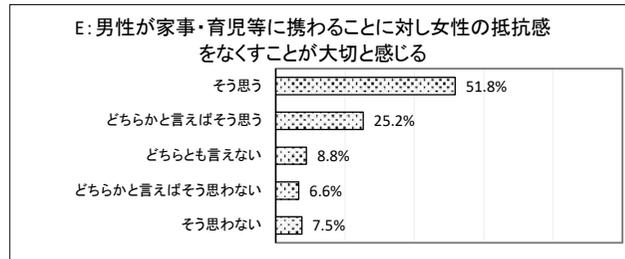
D. 男性が家事・育児等に携わることにに対し男性の抵抗感をなくすことが大切と感じる

	人数	割合
そう思う	150	66.4%
どちらかと言えばそう思う	56	24.8%
どちらとも言えない	12	5.3%
どちらかと言えばそう思わない	2	0.9%
そう思わない	6	2.7%
合計	226	100.0%



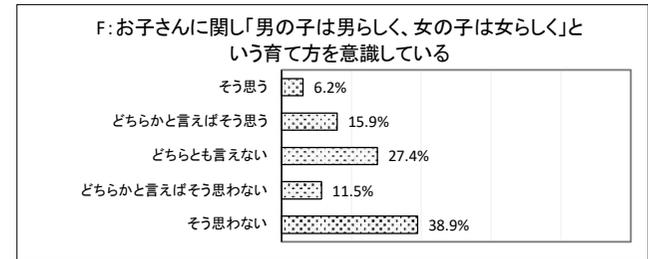
E. 男性が家事・育児等に携わることにに対し女性の抵抗感をなくすことが大切と感じる

	人数	割合
そう思う	117	51.8%
どちらかと言えばそう思う	57	25.2%
どちらとも言えない	20	8.8%
どちらかと言えばそう思わない	15	6.6%
そう思わない	17	7.5%
合計	226	100.0%



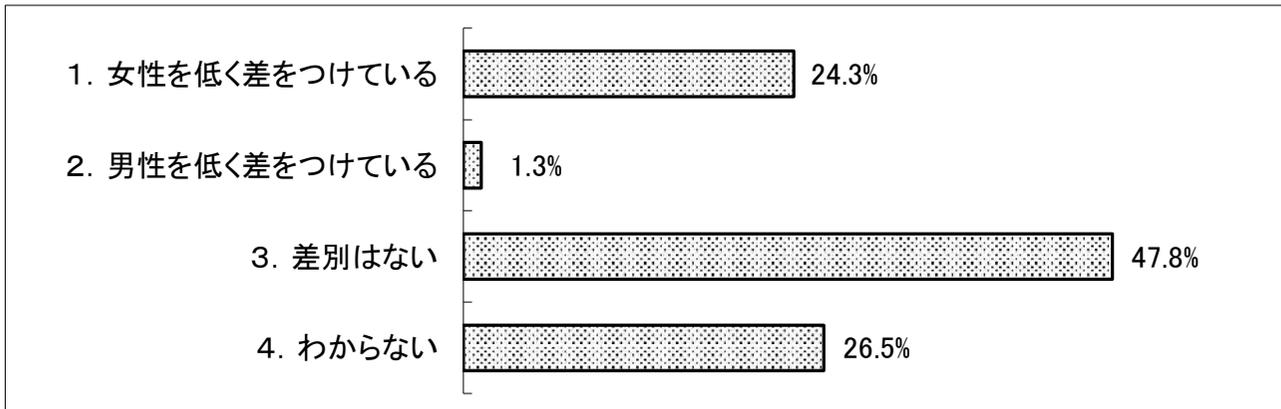
F. お子さんに関し「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という育て方を意識している

	人数	割合
そう思う	14	6.2%
どちらかと言えばそう思う	36	15.9%
どちらとも言えない	62	27.4%
どちらかと言えばそう思わない	26	11.5%
そう思わない	88	38.9%
合計	226	100.0%



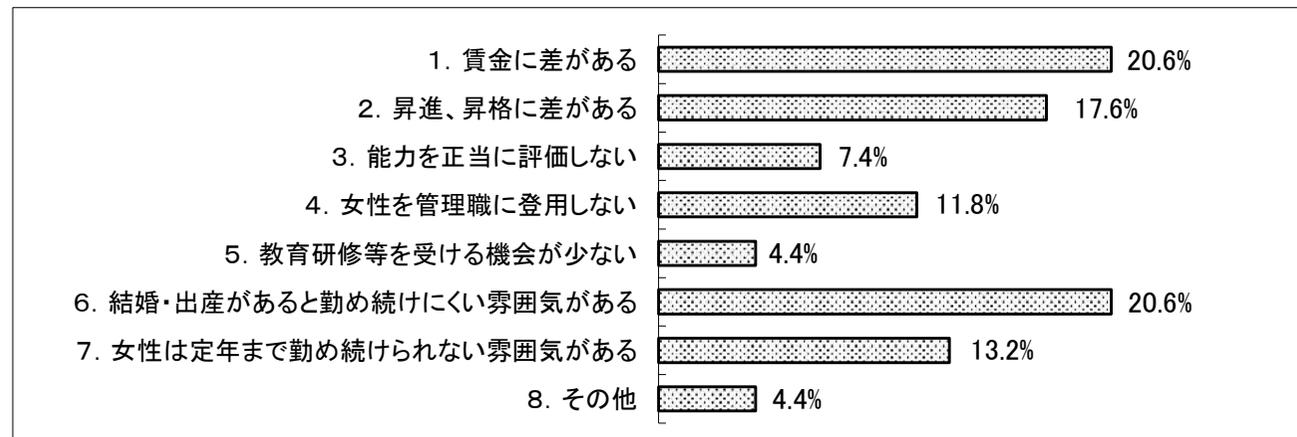
問6. あなた(配偶者を含め)の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性と男性の差別があると思いますか。(○は一つ)

	人数	割合
1. 女性を低く差をつけている	55	24.3%
2. 男性を低く差をつけている	3	1.3%
3. 差別はない	108	47.8%
4. わからない	60	26.5%
合計	226	100%



問7. 問6「1:女性を低く差をつけている」を選んだ方で、当てはまると感じている項目はどれですか。(〇はいくつでも)

	人数	割合
1. 賃金に差がある	14	20.6%
2. 昇進、昇格に差がある	12	17.6%
3. 能力を正當に評価しない	5	7.4%
4. 女性を管理職に登用しない	8	11.8%
5. 教育研修等を受ける機会が少ない	3	4.4%
6. 結婚・出産があると勤め続けにくい雰囲気がある	14	20.6%
7. 女性は定年まで勤め続けられない雰囲気がある	9	13.2%
8. その他	3	4.4%
合計	68	100%

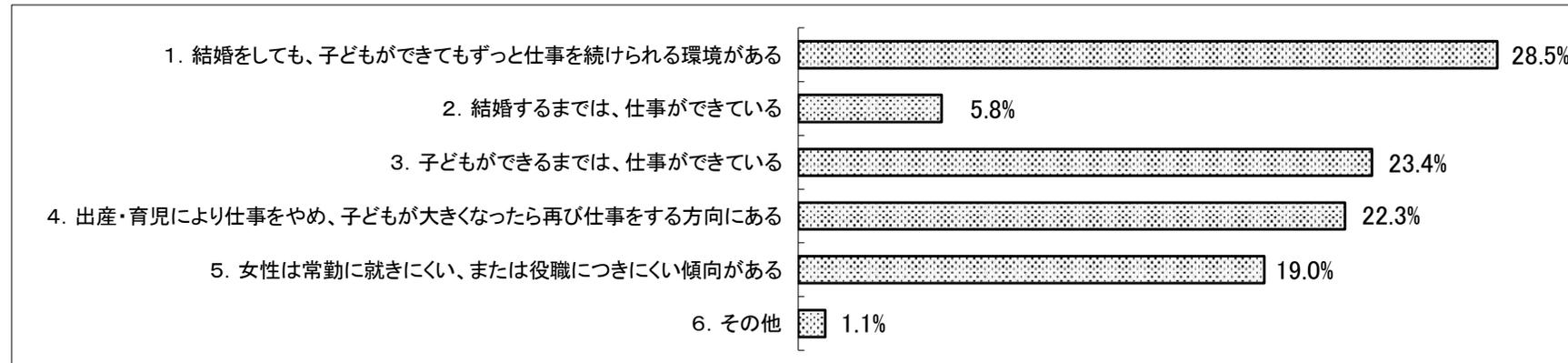


その他の意見

子どもの関係や家庭の環境で、残業や休日出勤がしたくてもできない場合の待遇、評価がちがう。
 妊娠、出産をすると、残業、休出なども出来なくなり、有給もとりがちになると、昇進、昇格などは確実に出来なくなる。
 職業柄、資格者との差があるため

問8. 女性の仕事について、現在の状況はどのような傾向にあると思いますか。
(○は二つまで)

	人数	割合
1. 結婚をしても、子どもができてもずっと仕事を続けられる環境がある	78	28.5%
2. 結婚するまでは、仕事ができている	16	5.8%
3. 子どもができるまでは、仕事ができている	64	23.4%
4. 出産・育児により仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする方向にある	61	22.3%
5. 女性は常勤に就きにくい、または役職につきにくい傾向がある	52	19.0%
6. その他	3	1.1%
合計	274	100%



その他の意見

定職に就いても子どもたちの体調不良で仕事を休んだり、早退したり会社に頭を下げてばかりいるのは母親が多い。

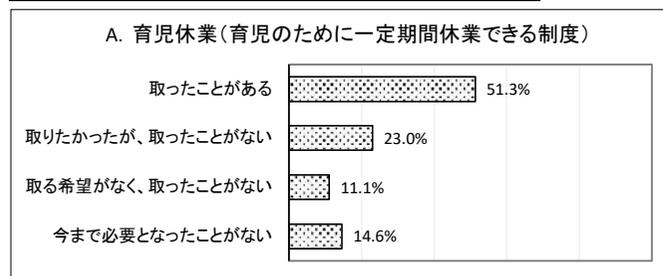
子どもの都合(体調不良、学校行事等)で仕事の休みを取るのは女性が多い。

派遣差別

問9. 今まで、あなた(配偶者含め)は、職場で以下の制度を使って休暇等を取ったことがありますか。(各項目で○は一つ)

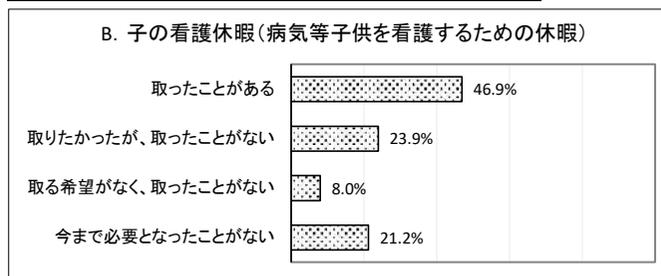
A. 育児休業(育児のために一定期間休業できる制度)

	人数	割合
取ったことがある	116	51.3%
取りたかったが、取ったことがない	52	23.0%
取る希望がなく、取ったことがない	25	11.1%
今まで必要となったことがない	33	14.6%
合計	226	100.0%



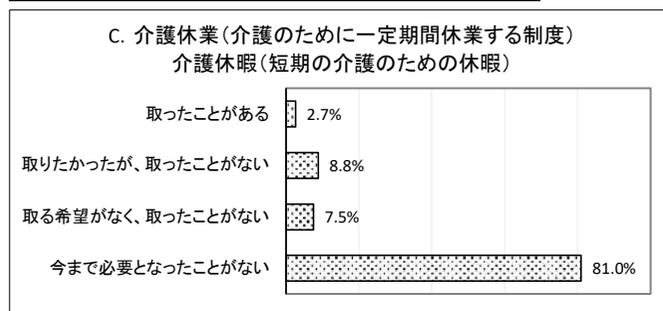
B. 子の看護休暇(病気等子供を看護するための休暇)

	人数	割合
取ったことがある	106	46.9%
取りたかったが、取ったことがない	54	23.9%
取る希望がなく、取ったことがない	18	8.0%
今まで必要となったことがない	48	21.2%
合計	226	100.0%



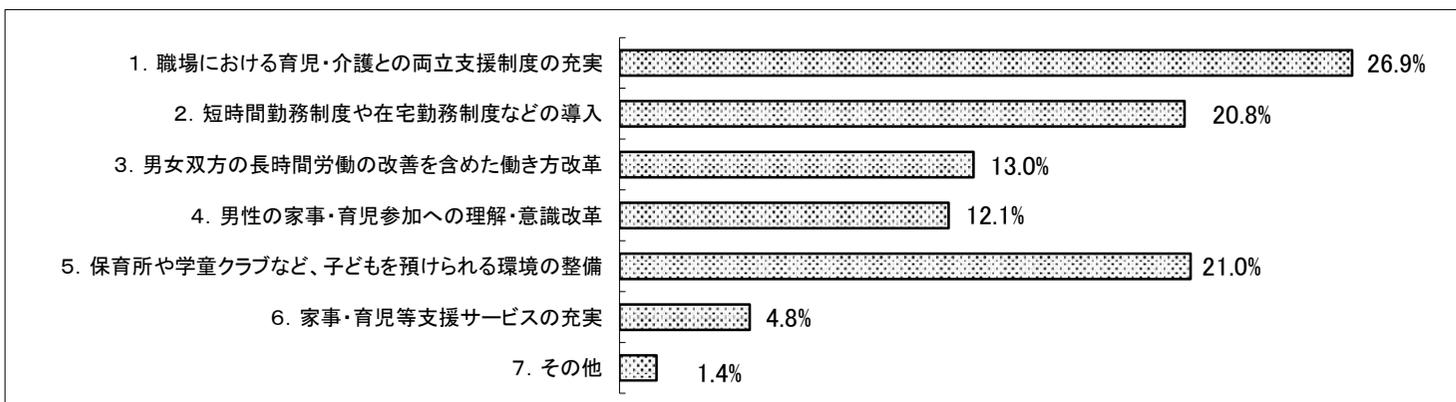
C. 介護休業(介護のために一定期間休業する制度)
介護休暇(短期の介護のための休暇)

	人数	割合
取ったことがある	6	2.7%
取りたかったが、取ったことがない	20	8.8%
取る希望がなく、取ったことがない	17	7.5%
今まで必要となったことがない	183	81.0%
合計	226	100.0%



問10. 女性が働き続けるために何が必要だと思いますか。(〇は二つまで)

	人数	割合
1. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実	118	26.9%
2. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	91	20.8%
3. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	57	13.0%
4. 男性の家事・育児参加への理解・意識改革	53	12.1%
5. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	92	21.0%
6. 家事・育児等支援サービスの充実	21	4.8%
7. その他	6	1.4%
合計	438	100%



その他の意見

女性が働かなくとも安心して豊かに子育て、暮らしができるように生活、教育、仕事において支援してもらいたい。大学までの教育費無料に！

全て

制度を利用出来る環境整備

育児家事は同じことをしても、女がやるのは当たり前、男がやると褒められる。この不均衡がなくなるとむり。

女性は月経や更年期など男性にはない特有の不調を抱え込みます。

子の看護休暇だけでなく働きたくてもそんな悩みを抱えて無理をしながら就労している方がいるのも現状です。診断書検討の上、就労が難しい方(就労復帰希望者)やそれによって休暇を取得している方(有給がない方、傷病にも当てはまらない)に限り町から助成できるものがあるれば国も動いてくれるのではないのでしょうか？町独自で女性を守り心豊かに子育てしやすい町に出来ないのでしょうか？

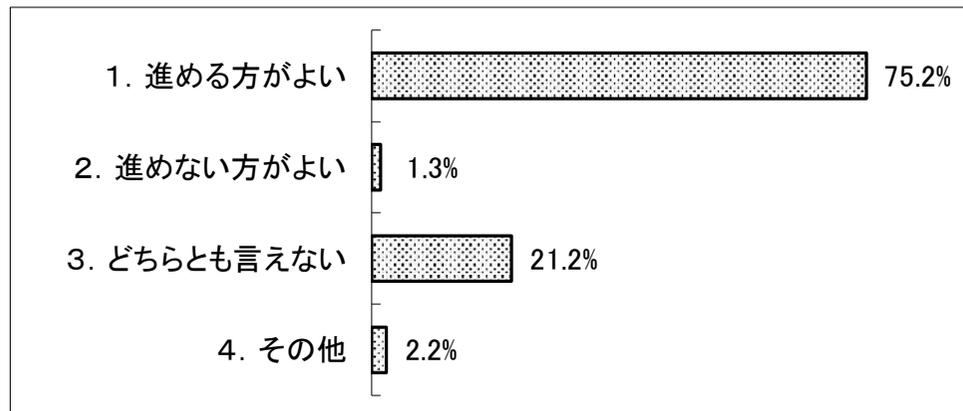
婦人科系による体調不良で仕事を休むと未だに白い目で見られる世の中が嫌になります。薬で騙しながら倒れる寸前で働かなければいけない状況から目を背けないで欲しいです。

どうか、女性が就労復帰できるような環境を作って下さい。

男性側の会社からの理解。

問11. 男性が育児や介護のための休業制度をとることを社会的に進めることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は一つだけ)

	人数	割合
1. 進める方がよい	170	75.2%
2. 進めない方がよい	3	1.3%
3. どちらとも言えない	48	21.2%
4. その他	5	2.2%
合計	226	100%



その他の意見

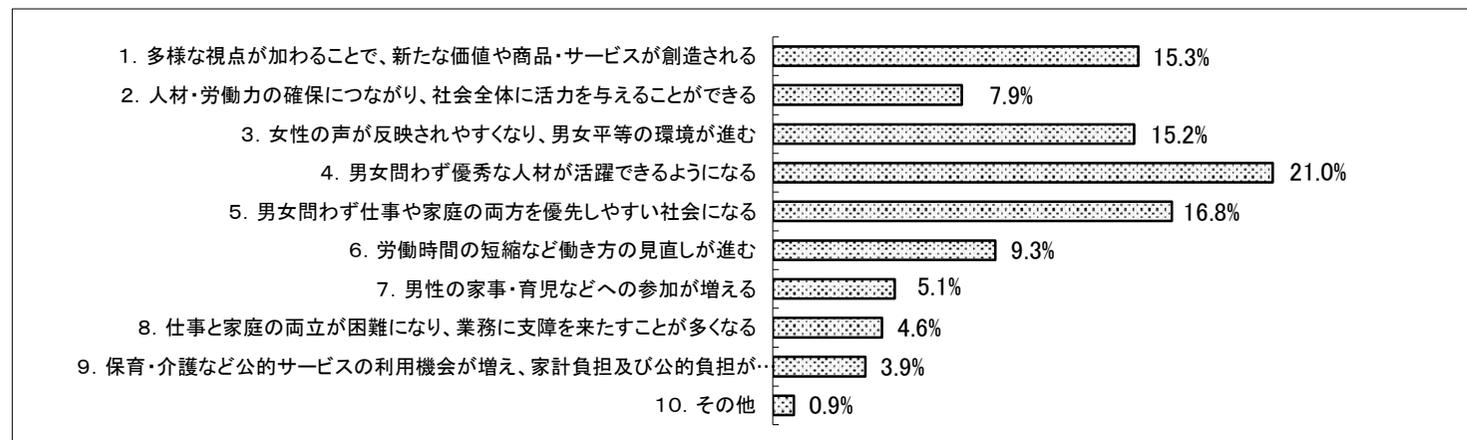
職場に休養できる環境がない。

どうせ何もしない

内容未記入 × 3

問12. 男女共同参画社会において、様々な女性の参加が進む方向が求められています。女性の参画やリーダーが増え、政策や経営の方針等に関わる機会も増えることで、どのような影響があると思いますか。(〇は三つまで)

	人数	割合
1. 多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される	87	15.3%
2. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる	45	7.9%
3. 女性の声が反映されやすくなり、男女平等の環境が進む	86	15.2%
4. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる	119	21.0%
5. 男女問わず仕事や家庭の両方を優先しやすい社会になる	95	16.8%
6. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む	53	9.3%
7. 男性の家事・育児などへの参加が増える	29	5.1%
8. 仕事と家庭の両立が困難になり、業務に支障を来すことが多くなる	26	4.6%
9. 保育・介護など公的サービスの利用機会が増え、家計負担及び公的負担が増大する	22	3.9%
10. その他	5	0.9%
合計	567	100%



その他の意見

そんな事より給料上げて欲しい。時給932円は安過ぎる。1,500円～ないと生活できない。

女性が上に立つ事への男性からの抵抗が感じられる。実際、自分は「女だから役職にはつかせない。女の言う事を聞く事に不満をもつ男性社員も一定数いる」と言われた。

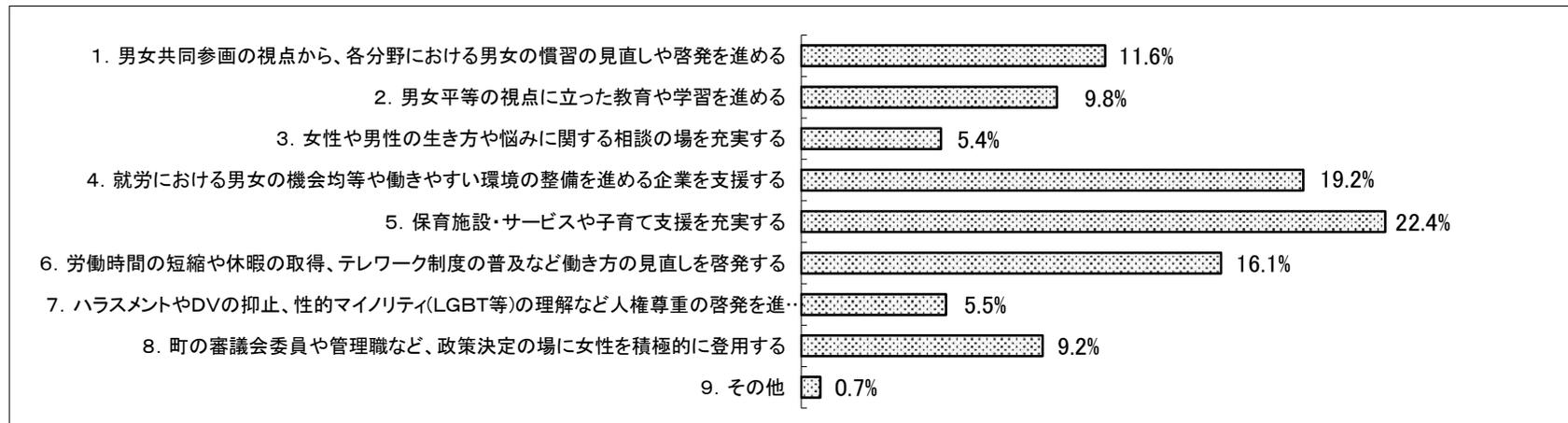
性別より、年齢格差をなくした方がよい。

結局は家事の負担が減らない事には何をしても意味がないと思う。配偶者の協力ではなく、やるのが当たり前だと思う。

プレーヤーとして優秀な人がマネージャーとして優秀とは限らないように、女性管理職の頭数だけ増やす為に、管理職になっている人が少なからずいます。政策で決まったからとあえ、女性の管理職を増やしても意味がなく、本当に必要な人材を必要な所へ配属する必要があると思います。

問13. 男女共同参画社会の促進として、町に希望する施策等はあるものがありますか。
(○は三つまで)

	人数	割合
1. 男女共同参画の視点から、各分野における男女の慣習の見直しや啓発を進める	63	11.6%
2. 男女平等の視点に立った教育や学習を進める	53	9.8%
3. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する	29	5.4%
4. 就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業を支援する	104	19.2%
5. 保育施設・サービスや子育て支援を充実する	121	22.4%
6. 労働時間の短縮や休暇の取得、テレワーク制度の普及など働き方の見直しを啓発する	87	16.1%
7. ハラスメントやDVの抑止、性的マイノリティ(LGBT等)の理解など人権尊重の啓発を進める	30	5.5%
8. 町の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	50	9.2%
9. その他	4	0.7%
合計	541	100%



その他の意見

女性の管理職について、父も母も仕事に重きを置くと家庭がおろそかになる。働き手減少を女性活躍に置き換えないでほしい。
 大河原は色々なお店の閉店が目立つ。町外からも人が集まるよう施設や環境を充実させて子育て世代が住みやすい環境が必要だと思う。
 もっと若い人たちが進言しやすい環境を作ったり、議員制度も定年を設けて、考え方をアップデートしていく必要があると思う。
 男女格差より、若者の声がダイレクトに響いてほしい。
 町の議員の半分、町職員の管理職の半数を女性にして欲しい。

男女共同参画全般に対して、町に対する意見・要望などがありましたら記載願います。

小学校保護者分

意見	性別	年齢	職業
未就学児がいて、共働き家庭への支援。短時間しか働けない人への支援。政治家、役場の人の人員・給料カット。(無駄遣いし過ぎ。もらいすぎ。ただ座ってるだけのくせに。削減できたものを国民へ。)	女性	30歳代	会社員・公務員(常勤)
子ども達への教育の中でも男女共同参画について周知して理解を深めていけると良い。	女性	30歳代	会社員・公務員(常勤)
平等にしようとして、結果逆に優遇してしまっている矛盾を感じる。 また、制度が変わっても、該当しない他の人たちに負担がいくようでは結局その制度を使うことをためらってしまう。 難しいことなのだとは思いますが、全体の意識の改革も同時に進めていければ良いのと思う。	女性	30歳代	会社員・公務員(常勤)
町に期待できることは何もありません。	女性	30歳代	会社員・公務員(常勤)
性的マイノリティに対しての啓蒙や当事者への配慮は当然必要と感じます。しかし、今、必要以上の「配慮」の結果、当事者(特にトランスの方)への風当たりが逆に強くなっている現状があると感じます。必要性は感じつつも、やりすぎ(配慮しすぎ)や誰かを犠牲にしての配慮には反対です。そうなるくらいであれば、やらなければいいという程反対です。やり方、具合を間違わないようにしてほしいと思います。	女性	30歳代	会社員・公務員(常勤)
大河原町はがんばっているが、日本ががんばっていない。男性に甘く、女性に厳しい。正直、子供たちが大人になる頃の日本が心配。	女性	30歳代	専業主婦・専業主夫
町が行っている男女共同参画の施策がまったく見えてきません。役場へ行くと男性が奥の席に座り、女性が手前(受付近く)席のことが多く、窓口へ行っても来るのは女性ばかり。近くにいて、こちらを見ても声をかけたり腰を上げる男性が少ない印象です。まずはすすんで「どうされましたか?」と声をかけるところからはじめてはいかがでしょうか?	女性	30歳代	専業主婦・専業主夫
現在、4人家族で、夫が働き、私が専業主婦で家事全般、育児全般をしています。土日以外は殆どワンオペです。 育児に関わる休暇を私は取得したことはありません。 夫は次女が幼稚園に入園した頃から、コロナの事もあり、少しずつ子供の看護休暇などを取得出来るようになりました。 夫の会社では育児休暇などの制度があるようですが、皆さん遠慮して取得されない場合がほとんどのように感じます。 例えば奥さんが体調を崩し、幼いお子さんがいて両親を頼れない場合、ご主人が休むのが適切だと思いますが、休まない方がいます。 会社優先になってしまうご主人の意識を家庭優先に変えるには、社会、会社、地域の意識を変える必要があると思います。 また、男女平等も大切ですが、個人の価値観を尊重していける社会を目指して欲しいです。集団の中でも個人は個人で動けるようになればいいなと思います。	女性	30歳代	専業主婦・専業主夫
とりあえず頭数だけ揃えようというのはなんの意味も無いので、女性男性問わず本当に優秀なマネージャーの育成、プレーヤー時代の教育を充実させるべきだと思います。今の上役の教育も含めてです。	男性	30歳代	会社員・公務員(常勤)
現在働き盛りの人は、男女平等に対して当たり前の考えがほぼ多数ですが、50代後半あたりの人以降は、男だから女だからという考えの人がほとんどだと思われるので、今の時代はそうではないのだと、町の方で何かしらの形で伝え、理解してもらう方法を見つけていただきたいです。	女性	40歳代	会社員・公務員(常勤)
家庭によって事情が違うのに学童が3年までなのは困る。 PTAや地区の子供会などに入る事が半強制的なため負担があると思います。	女性	40歳代	会社員・公務員(常勤)
女性をリーダーや役員にする場合必ず意思を持っている人を選ぶべき。他人から信頼されるとか、雰囲気ができそうとかで選ぶものではない。家庭の事情でできない女性だっているし、リーダーになりたくない人だっている。男女平等とはいえ前に立ちたい女性は少ないという事実。嫌々リーダーになり全てを背負い込み家庭と仕事の両立で苦しむ事になります。結婚相手がサポートできるとは限らない。男性こそ料理ができないなら惣菜を買ってきてくれる、洗濯しておいてくれるとか、現実的なサポートをしてくれないかぎり女性側はサポートされてるという気持ちにはならないと思う。男性の意識改革が必要、それこそ男性の家庭体験をさせるべき、子供を病院へ連れて行く大変さをわかるか、50代男性は絶対した事ないと思う。女性が独身なら別の話、背負ってる物が少ない分やはり社会で活躍しやすいです。簡単に女性の権利をあたえられても困る人もいて欲しい。	女性	40歳代	会社員・公務員(常勤)
私自身は差別を感じたことはありませんが、男女平等が当たり前になると良いとは思いますが、やはり男女で得意不得意があるので無理に男女平等も違うかな?とも感じます。 行事などで来られる、来賓の方など、男性の方は態度がイマイチな方がちらほら(もちろん全員ではありません)女性ではそれを感じません。 男女差別 マンスプレイングなど 色々な問題があるのかな と思います。	女性	40歳代	専業主婦・専業主夫
男女は同権ではあるが、同質ではない。そこを基本に考えないと無理が生じると感じる。	女性	40歳代	パート・アルバイト
育児休業や看護休暇に関しては、企業の協力が得られにくい職場もあるので、町の方からも働きかけてほしい。	女性	40歳代	パート・アルバイト
小児科をとにかく増やして欲しい。	女性	40歳代	パート・アルバイト
働き方は、男女問わず多様化しています。未就園児がいる家庭において、母親がフルタイムで働か、家で子どもを見るかの二択ではなく、週2~3日/1日2~3hからでも働けるような保育サービスが大河原でも、他市町村のように整っていたらよかったですずっと思っていました。柴田町をはじめ仙南各市町村で、低料金の預り保育制度があります。次へ続く子育て世代のために、情報を仕入れて整備を考えてほしい。役場職員のようにフルタイムで働いている人だけではなく、在宅ワークなども含め、どのような保育ニーズがあるのか、実状に合わせて整備をすすめてほしい。	女性	40歳代	パート・アルバイト
要望は問10のその他の欄に記載しております。	女性	40歳代	就業していない
そもそも、育児は男女(夫婦)が共にすべきことが原則なので、それが普通になる社会になることで子どもへの良い環境になると思います。その一助となる施策をお願いします。	男性	40歳代	会社員・公務員(常勤)